

シラバス

経営ビジネス学科

平成25年度

Kinki Univ.
FACULTY OF HUMANITY-ORIENTED SCIENCE AND ENGINEERING KINKI UNIVERSITY

産業理工学部 教育方針

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

産業理工学部の教育理念である「技術に偏らず、人間と社会を常に意識して活躍できる職業人を育成する」ことを実現するため、以下のようなカリキュラムを設置しています。

〈人間形成科目〉

各学科で学ぶために必要な基礎的な知識・技能と、現代社会に的確に対応できる幅広い教養を身につけ、人格の涵養をはかります。また、自立した社会人としての人生設計を支援する科目を段階的に開講し、人間的成長とキャリア形成を図ります。

〈リテラシー科目〉

社会人としての基礎的能力である語学や情報処理能力を身につけます。英語では、基礎を徹底する科目からコミュニケーション力をつける科目まで体系づけて履修します。情報処理では、基礎から高度な処理能力までを体系的に、かつ資格取得とも連動させて実務に即した能力を養成します。

〈専門科目〉

初年度に少人数の基礎ゼミを設けて自律的な学習態度への転換を図り、専門教育にスムーズに移行できるように配慮しています。各学科で設定された人材育成目標に沿って科目群を編成しています。講義だけではなく豊富な実験・実習、演習科目を通して専門に関する知識や技能を修得し、実践力を養成します。

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

産業理工学部では「自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想をもった教養ある社会人を育成すること」を教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。これらの趣旨のもとに開講された科目を履修して、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（工学）あるいは学士（経営ビジネス）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

- 1 近畿大学の教育理念にかなう「人に愛され、信頼され、尊敬される」人であるべきことを常に心掛け、自己の向上に努める態度を身につけること。
- 2 技術に偏らず、人間と社会を常に意識し、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想を身につけること。
- 3 21世紀社会の課題に応えられる教養ある社会人としての能力を身につけること。

産業理工学部 経営ビジネス学科 教育方針

【カリキュラムポリシー】（教育課程の編成方針）

経営ビジネス学科は、マネジメント能力と社会人としての基礎力を持った人材を育成するために、以下のようなカリキュラムを設置しています。なお、重点的に学ぶ分野の違いに応じて、経営プランニングコース・地域マネジメントコース・スポーツマネジメントコースの3つのコースを設けています。

- 1 自立した社会人として活躍するために、「歴史を学ぶ」などの人間形成科目により幅広い教養を身につけると共に、「ライフデザイン」などで就業力を養います。リテラシー科目では、多くの必修科目により、使える英語の能力、日本語の運用能力、パソコンスキルを確実に身につけます。
- 2 1学年の「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」では少人数で問題解決型の学習に取り組み、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を総合的に養います。文理融合科目では、他学科の専門科目を学習し、専門分野に偏らず、人間や社会を意識した発想ができる資質を育てます。
- 3 1学年及び2学年では、「基礎経済学」、「基礎経営学」、「基礎流通論」、「基礎人間工学」などの専門基礎科目を必修科目として配置し、3つのコースと経営・経営工学、財務・会計、地域・文化、スポーツマネジメントの4つの専門科目群の組み合わせによって、各人の目的に合わせて専門科目を効率よく学習できます。
- 4 経営プランニングコースでは、「経営管理論」、「経営戦略論」、「マーケティング論」、「会計学」などを学習し、企業の経営に直接関わる能力を養成します。地域マネジメントコースでは、「経営管理論」、「国際関係論」、「地域経済論」、「地域ビジネス論」などを学習し、企業以外の組織や地域の経営に関わる能力を養成します。スポーツマネジメントコースでは、「経営管理論」、「スポーツマネジメント」、「スポーツ社会学」などを学習し、スポーツクラブの経営に関わる能力を養成します。
- 5 全学年を通して少人数ゼミナールを配置し、教員との交流を通して、学生の個性に合ったきめ細かな指導を行います。
- 6 外部の専門家との連携、インターンシップや学外実習などを通して地域社会とのつながりを作るとともに、実際の経営に触れる機会を提供し、マネジメントに関する実践的な能力を養成します。

【ディプロマポリシー】（卒業認定・学位授与に関する方針）

経営ビジネス学科は、マネジメント能力と社会人としての基礎力を持った人材を育成することを教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。これらの趣旨のもとに開講された科目を履修して、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（経営ビジネス学）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

- 1 関心・意欲・態度
 - 1) 社会経済に関心を持ち、社会貢献の意識を持って自ら積極的に社会に関わろうとする姿勢を持っていること。
 - 2) 人を信頼し、人から信頼されることを常に心がけ、社会人としての基礎力を備えていること。
 - 3) 学んだことに誇りを持ち、新しい専門知識を自ら学んでいく態度を身につけていること。
- 2 思考・判断
 - 1) 企業その他組織に関する幅広い知識を持ち、組織のあり方に対する戦略的な思考ができること。
 - 2) 細部にとらわれず、大局的なものの捉え方ができること。
- 3 技能・表現
 - 1) マネジメントに関する幅広い知識を持ち、社会や組織の中核で活躍するマネジャーとなりうる能力を身につけていること。
 - 2) 自ら問題を発見し、それを解決する意欲とそのため知識ならびに技能を身につけていること。
- 4 知識・理解
 - 1) 企業その他組織の運営に直接関わる経営学、会計学、マーケティングの基本的な知識を理解し、それらの視点に立った行動ができること。
 - 2) 企業その他組織を取り巻く社会経済の動向を把握できる経済学の基本的な知識を身につけていること。

平成25年度 近畿大学 産業理工学部
経営ビジネス学科シラバス

目次

第1部 学習目標を達成するために

【I】 経営ビジネス学科の教育システム	3
1. 経営ビジネス学科とは	3
2. 経営ビジネス学科の特色	3
3. 日本技術者教育認定機構（JABEE）について	3
4. 経営ビジネス学科の3コースと学習・教育目標	4
4.1 経営プランニングコース.....	4
4.2 地域マネジメントコース.....	4
4.3 スポーツマネジメントコース.....	4
5. 経営ビジネス学科のカリキュラム	4
6. 卒業研究着手や卒業の条件	4
6.1 卒業研究着手条件（4年次進級の条件）	4
6.2 卒業要件.....	5
7. 受講科目の適切な選択方法	5
7.1 履修計画を立てるにあたって.....	5
7.2 年次別標準履修単位数.....	5
8. 受講科目の自己点検と授業改善	5
9. 科目の成績評価基準	6
10. 経営ビジネス学科に関する資格取得について	6
【II】 学習を進めるにあたって	6
11. 1年次の特徴	6
12. 2年次での注意事項	6
13. 3年次での注意事項	7
13.1 卒業研究に着手するための条件	7
13.2 進路の決断：就職と進学	7
13.3 3年次の専門科目	7

13.4	卒業研究をする研究室の選択配属	7
13.5	3年次前期と3年次後期の自己点検	7
14.	4年次での注意事項	7
14.1	卒業研究	7
14.2	卒業するための条件	7
14.3	4年次前期の自己点検	7
15.	卒業前の自己点検	8
15.1	卒業研究の中間発表	8
15.2	卒業後の進路	8
15.3	修得単位の確認	8
16.	困ったとき：学習を支援する組織	8
16.1	教務委員	8
16.2	学生支援委員	8
16.3	就職対策委員	8
16.4	グループ担任	8
17.	経営ビジネス学科の専任教員	8

第2部 科目の学習計画（シラバス）

【I】	開講科目一覧（基礎科目）	11
【II】	開講科目一覧（専門科目）	12,13
1.	人間形成科目	
	ライフデザイン	17
	建学のこころ	17
	生涯スポーツ I	18
	生涯スポーツ II	18
	キャリアデザイン	19
	環境学入門	19
	経済学の基礎	20
	数理科学	20
	環境と化学	21
	環境と生物	21
	初等物理学	22
	社会奉仕実習	22
	インターンシップ	23
	倫理哲学	23

人間のこころ	24
歴史を学ぶ	24
法を学ぶ	25
日本国憲法	25
知的財産法概論	26
産業技術と倫理	26
就職計画	27
基礎ゼミ I	27
基礎ゼミ II	28

2. リテラシー科目

リメディアル英語	31
ベーシック英語	31
ブラッシュアップ英語 I	32,33
ブラッシュアップ英語 II	33,34
ゼネラル英語 I	35
ゼネラル英語 II	35
TOEIC英語 I	36
TOEIC英語 II	36
アドヴァンス英語 I	37
アドヴァンス英語 II	37
初級英会話 I	38
初級英会話 II	39
英会話 I	40
英会話 II	40
留学英語	41
中国語 I	41
中国語 II	42
中国語 III	42
中国語 IV	43
留学中国語	43
日本語 I	44
日本語 II	44
日本語 III	45
日本語 IV	45
日本語表現法基礎 I	46
日本語表現法基礎 II	46
日本語表現法応用 I	47
日本語表現法応用 II	47
情報処理 I	48,49
情報処理 II	49,50

情報処理Ⅲ	51
-------	----

3. 専門科目

経営ビジネス学入門	55
基礎経済学	55
基礎経営学	56
基礎流通論	56
基礎情報システム論	57
基礎人間工学	57
基礎簿記Ⅰ	58
地域マネジメント基礎論	58
ビジネス英語基礎	59
外書講読	59
経営管理論	60
経営戦略論	60
人的資源管理論	61
株式会社論	61
国際経営論	62
金融システム論	62
経営管理演習	63
労使関係論	63
マーケティング論	64
流通システム論	64
食品産業論	65
環境科学	65
経営数学Ⅰ	66
経営数学Ⅱ	66
システムの基礎	67
労働科学	67
産業人間工学	68
福祉人間工学	68
人間工学演習	69
オペレーションズ・リサーチ	69
マネジメントゲーム	70
会社法	70
情報と法	71
特別講義Ⅰ	71
経営財務論	72
基礎簿記Ⅱ	72
会計学	73
財務諸表論Ⅰ	73

財務諸表論Ⅱ	74
原価管理	74
経営分析	75
税務会計	75
税法Ⅰ	76
税法Ⅱ	76
会計処理演習	77
特別講義Ⅱ	77
国際関係論	78
比較経営論	78
地域経済論	79
地域中小企業論	79
地域ビジネス論	80
現代文化論	80
アジア社会文化論	81
アメリカ社会文化論	81
オーストラリア社会文化論	82
比較文化論	82
異文化理解	83
日本文化論（美術）	83
比較美術論	84
身体健康科学	84
ビジネス英語Ⅰ	85
ビジネス英語Ⅱ	85
英語コミュニケーションⅠ	86
英語コミュニケーションⅡ	86
中国語コミュニケーションⅠ	87
中国語コミュニケーションⅡ	87
スポーツマネジメント	88
スポーツ社会学	88
特別講義Ⅲ	89
プレゼミナールⅠ	89
プレゼミナールⅡ	90
ゼミナールⅠ	90
ゼミナールⅡ	91
卒業研究ゼミナール	91
生物環境化学特別講義Ⅰ	92
生物環境化学特別講義Ⅱ	92
初等電磁気学	93
初等回路理論	93
日本建築史	94

西洋建築史	94
確率論	95
計算の複雑さ	95

4. 教職科目

教職に関する科目

教職論	101
特別活動の研究	101
教育心理学	102
教育学概論	102
教育行政学	103
商業科教育法 I	103
商業科教育法 II	104
進路指導論	104
教育相談	105
教育実践の研究	105
教育実習	106
比較教育学	106
教職実践演習（高等学校）	107

教科に関する科目

職業指導（商業）	111
----------	-----

第1部

学習目標を達成するために